



「令和5年度校内研修のまとめ～ICT教材の開発と授業力向上のための研修～」

研修部主任 長谷川

1年間を通じて、ICT教材にはどのようなものがあるのか、どういったものが活用できるのか、どう活用することで生徒の自主性や主体性が伸びるのかなど、様々な視点でICT教材の利活用について教員間で協議を進めてきました。また、定期的に先生方へアンケートを取り、ICT教材の使用率やどのような活用をしているかデータを取ってきました。アンケートの結果からも次のことが分かりました。

①本校では、ほとんどの教員がICT教材を一度は利用している。(図1参照)

②使用したICT教材は昨年度までと同様の物ではなく、8割近くは今年度新たに使用した教材である。

(図2参照)

さらには活用方法にも変化が見られ、年度の始めは教員がICT教材を操作することがほとんどでしたが、年度後半には生徒自らが操作することが多くなりました。(図3参照)

これらの結果からも今年度の研修には一定の効果があったと言えます。来年度は全学年の生徒が一人一台端末を持つこととなります。生徒たちのより良い学びのために、今後も教職員一同研修に努めていきたいと思っております。



図1 今年度ICT教材を使用した教員



図2 今年度使用したICT教材は初めて使用した教材かどうか

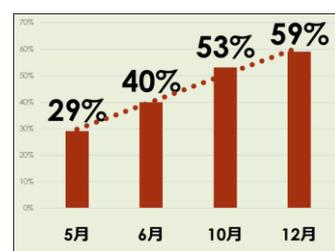


図3 生徒がICT教材を操作した割合

『不審者対応訓練』について

生活指導部主任 竹花

本校では、年間を通じて様々な災害やトラブルを想定した訓練を実施し、日々の安心で安全な学校生活を送れるよう努めています。2月13日(火)は亀有警察署から本校のスクールサポーターをお招きし、不審者が校内に侵入したときの対応訓練を実施しました。不審者対応訓練では校内の安全を確保するための職員による組織的な対応と生徒自身も自分ができることを理解し、自ら安全を確保するために必要なことを学びました。具体的には、不審者が侵入した際の教室のバリケード作りで

今年度はスクールサポーターの方に教室巡回をしていただき、不審者侵入時の教室の安全な環境設定について説明をしていただきました。単純にドアの前に机を置くだけでなく、机の置き方についての工夫や机以外にもバリケードに使用できる物品について詳しく説明を受け、理解が深まりました。最後の全体に向けた講話では、一人一人が真剣に訓練に取り組んでいたと評価をいただきました。



本校では、月に1度の避難訓練をはじめ年間を通じて、様々な状況を想定した防災訓練を実施してきました。その中で、「すぐに避難隊形に移動する」「避難指示を聞き、正しい経路で避難する」ができるようになりました。訓練自体が形骸化され、マンネリ化した訓練にならないように次年度以降も様々な状況を具体的に想定し、有事の際に備えてまいります。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日がずれる場合があります。